

# 経営比較分析表

千葉県 八街市

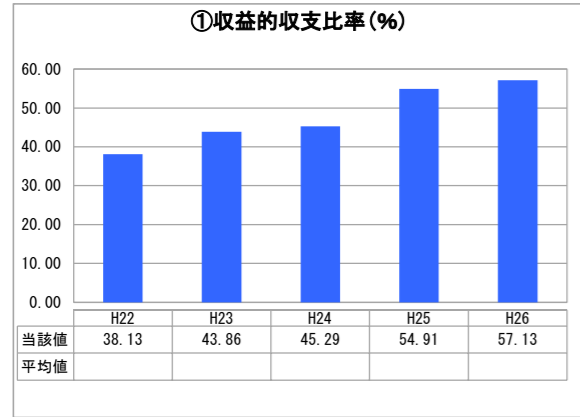
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	27.40	80.96	2,700

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
73,449	74.94	980.10
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
20,063	4.38	4,580.59

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



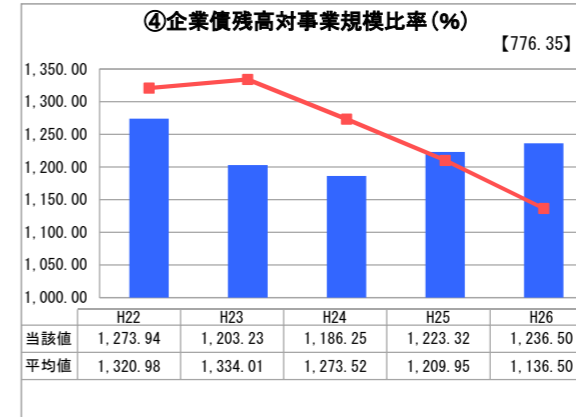
「単年度の収支」



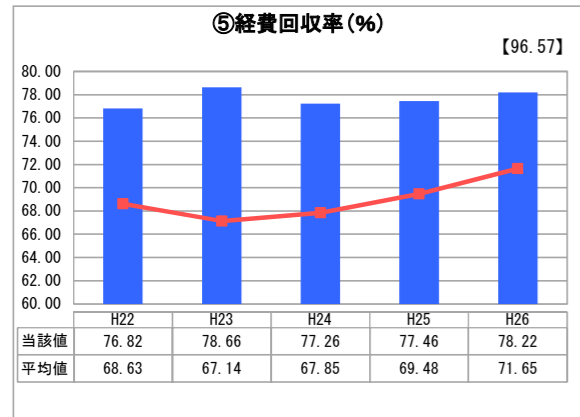
「累積欠損」



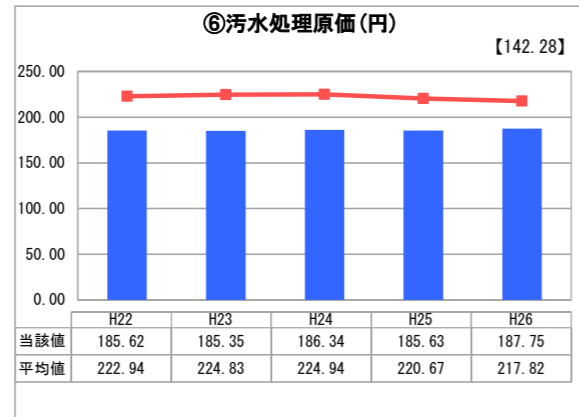
「支払能力」



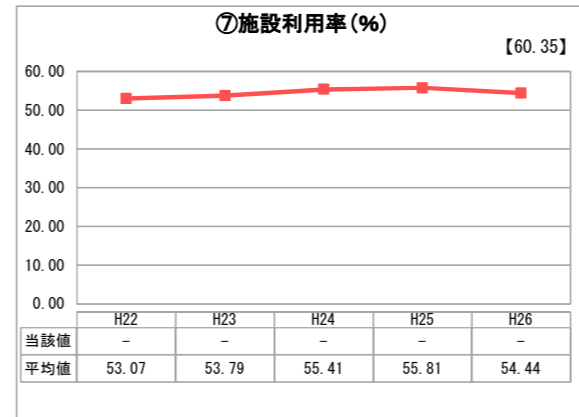
「債務残高」



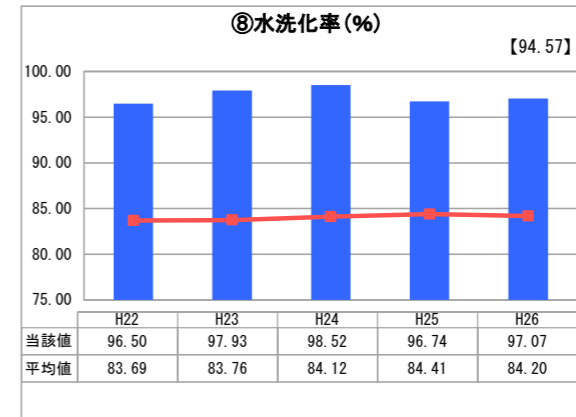
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

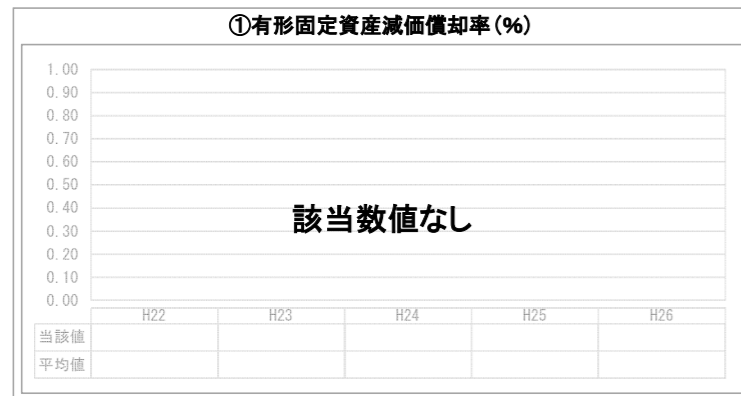


「施設の効率性」

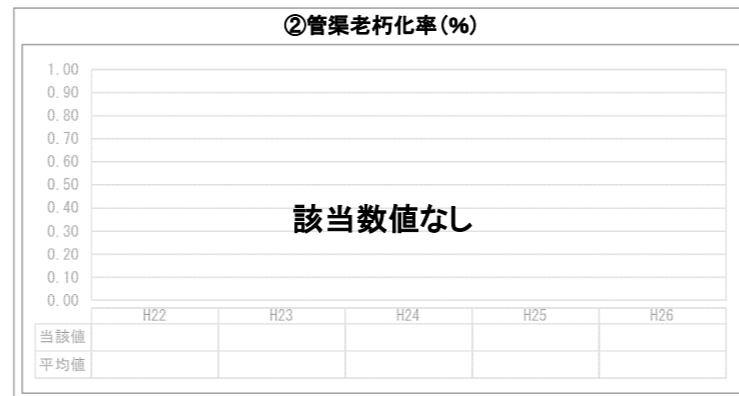


「使用料対象の捕捉」

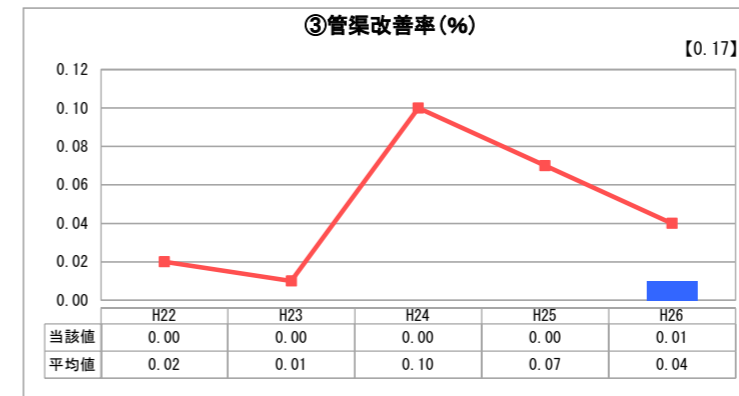
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が赤字となっており、経営規模に比べて企業債の規模が大きいために単年度収支圧迫の要因となっている。平成元年3月の供用開始以来、黒字に到達できていないことから、八街市汚水適正処理構想の見直しに着手しており、今後も継続した経営改善に努めるものとする。

### 2. 老朽化の状況について

比較的管渠は新しく、過去のカメラ調査では目立った老朽箇所は見当たらなかった。今後は、都市計画決定区域内の整備と併せて、収益に配慮した改築更新を進めることとする。

### 全体総括

義務費となる起債償還については、減価償却年数との乖離を解消するため平準化債による繰り延べを行いつつ、現在、整備中の八街バイパス沿線の接続増に努める。なお、枝線整備済み区域内の宅地利用促進が課題となる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。